政策分析シート

政策名	活力ある地域産業づくり	政策No	01	部名 部長名	産業経済 高野	斉部 政義	内線	440
関連部名	福祉部			III X TI	10121	以我	P J HOK	770
行政評価 事業体系	分野産業・教育・文化							

地域経済が区民生活の礎であることにかんがみ、区内産業の発展、地域経済の活性化及び雇用の創出を促進し、もって区民生活の向上と活力ある地域社会の実現を図ることを目的とする。

目的

			指標の推移					
		政策の成果とする指標名		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)	指標に関する説明
指	<u>نا</u>		起業家支援塾受講者の開 業率(%)	5. 3	7. 0	8. 3	20	
		2	MACCプロジェクト参 加企業数		1	60	200	
標		3	新製品·新技術助成件数	2	3	6	10	
		4	見本市等出展助成件数	31	37	40	50	
	(⑤	活性化事業実施商店会数	4	5	5	8	

- ・売上高の減少や経営者の高齢化、後継者難等により、事業所数の減少が続いている中、区内での 創業・起業を支援し、産業活力の再生を図ることが必要である。
- ・「荒川区モノづくりクラスター(MACC)プロジェクト」を立ち上げ、荒川版クラスター形成に向け、「産学官の顔の見えるネットワーク」の構築を目指す。
- 切・新製品や新技術の開発を促進するため、企業の多様な研究テーマに対応できるよう、産学官の連 状 携を一層推進する必要がある。
- ・区内企業の経営基盤を強化するため、新たな販路開拓の必要性が一層増している。特に、小規模 事業所の販路拡張への支援が必要になっている。
 - ・活性化事業やイベント事業を実施できる商店会が減少してきており、商店街の活気と賑わいが失 われつつある。
 - ・起業家支援塾の一層の充実を図るとともに、創業・起業者に対する融資あっ旋、創業支援施設 「西日暮里スタートアップオフィス」入居企業に対する支援を引き続き推進する。
 - ・平成18年度に「荒川版クラスター形成のためのロードマップ」を調査・検討し、MACCプロ ジェクト推進に必要となる様々な支援策を実施していく。
- 後 ・新製品・新技術開発支援に加え、産学官連携研究開発促進事業を実施するとともに、MACCプロジェクトを核とする産学交流、企業間交流を促進していく。
 - 」・見本市等への出展助成、販売支援サイトの充実、海外市場進出支援に加え、見本市等共同出展支 □援事業を行うなど、区内企業の販路拡張に向け、多面的な支援策を実施していく。
- 性・意欲のある商店会等を重点的・集中的に支援し、商店街振興の先導的な役割を担えるように育成していく。

今後の方向

政策分析シート

政策を構成する施策の優先度						
施策名	政策推進の ための優先 度	優先度についての説明・意見等				
産業基盤の整備・充実	В	産業基盤の整備・充実を図ることは、区内産業の活性化を促進していくために必要不可欠である。				
創業・起業の支援	А	区内での創業・起業を支援することは、区内産業の 活性化のためには極めて重要である。				
新産業の創出支援	А	荒川版クラスター形成に向けたMACCプロジェクトの推進は、区内産業の活性化のためには極めて重要である。				
後継者育成、技術・技能承継の支援	В	後継者育成、技術・技能承継を支援することは、区 内企業の継続的な発展を促進するために重要であ る。				
企業経営力の強化支援	В	資金、設備、経営計画、情報など多面的に企業経営力の強化を支援することは、区内産業の活性化のために重要である。				
新製品開発等の支援	А	区内企業の新製品や新技術の開発を支援し、事業革 新を促進することは、区内産業の活性化のためには 極めて重要である。				
販路拡張の支援	А	区内企業の販路拡張を支援し、経営基盤を強化する ことは、区内産業の活性化のためには極めて重要で ある。				
活気あふれる商店街づくり	А	区内の商店街を支援し、その活性化を図ることは、 地域の活性化及び区民生活の安定のために極めて重 要である。				
就労支援	В	区民の雇用促進及び区内企業の人材確保を図ること は、区の重要課題である。				
安心安全の消費生活	А	消費生活に関する相談や啓発活動、情報提供を行う ことは、区民の消費生活の安定と向上を図るために 極めて重要である。				